千刈キャンプ　セルフビルドプログラム

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　担当　森本崇資（千刈キャンプ）

**82.6％**　企業の人事担当者が採用にあたって最も重視した項目（日本経団連2012）

「コミュニケーション能力」（９年連続）

近年あらゆるメディアの中で「**コミュニケーション能力の低下**」「**コミュニケーション教育の必要性**」という言葉が大きく

とりあげられている。会社なかから、教育現場、そして家庭にいたるまで。

コミュニケーション能力の低下とはいったいなんだろうか。もしかして低下しているのではなく、世代・価値観・年齢・立場などなど自分と「異」なるものに対して、『**自分の気持ちを「伝えたい」という欲求』が少なくなってきている**のではないか。

→　どうすればその**『伝えたい』**という気持ちが少しでも大きくなるのか。

→　**『伝わらない』**という**「本物の体験」**からならばその気持ちが芽生えるのではないか。

この考えをきっかけとし、セルフビルドプログラムは生まれました。

本プログラムは、「伝える技術」を机上で教えるのではなく、自然の中で活動し、それぞれの立場にかかわりなく、同じ課題にチャレンジする中で、失敗や成功、不安、葛藤、そして達成した時の気持ちの高揚などを経験し、「伝えること」の大切さを知り、また、**伝えることが苦手な人の気持ちを「汲みとる」ことの大切さ**などを、**「五感を使った体験学習」**を通して経験していただくものです。

セルフビルドプログラム　for FWN

日常への多岐にわたる活用

ルールの理解

小さめのチャレンジ（エレメントなし）

すこし大きめのチャレンジ

（エレメントを使用することもあり）

大きめのチャレンジ

（エレメントを使用することもあり）

ふりかえり・わかちあい

プログラムの内容は、

その時々の参加者の方々の様子でアレンジします。

体を使うものから、頭を使うものまで、自分ひとりでは

解決できないものにトライしていだだきます。

テーマは「１グループから『ひとつのチーム』へ」

ルールは　「話しやすいように聞く」

　　　　　　「聴きやすいように話す」

これらを大切に、プログラム展開をしていきます。



BEST SHOT of the ’self build’